

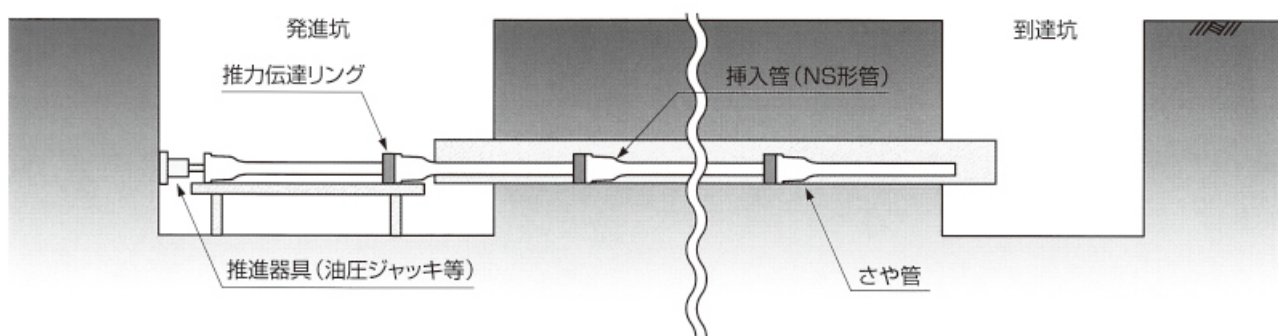
NS形ダクタイトイル鉄管

さや管推進工法

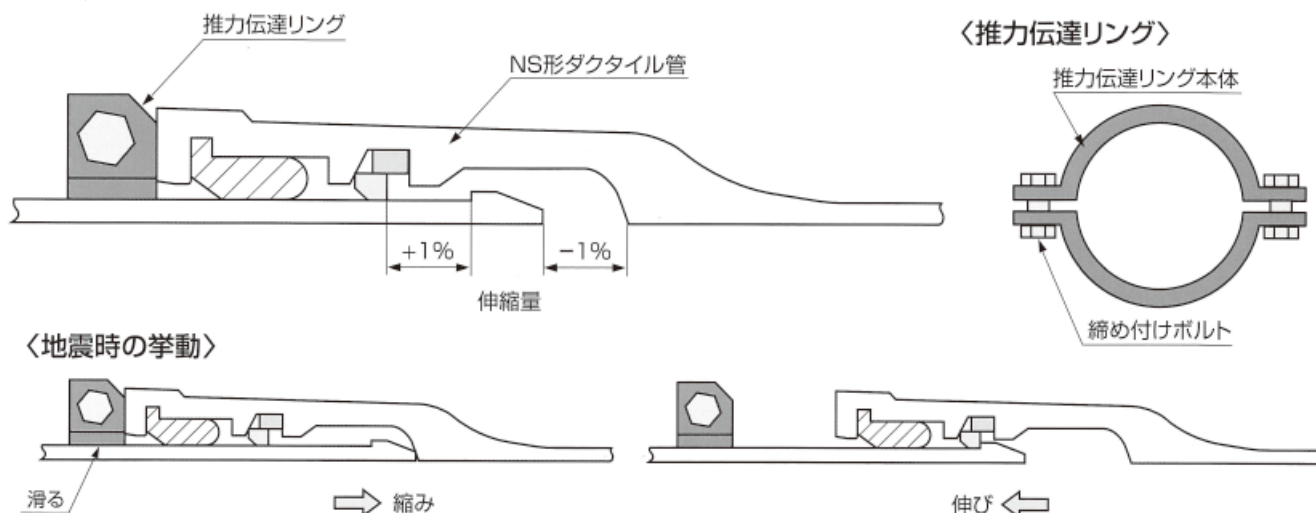
市街地の交差点部や軌道横断部など、近年は小口径であっても開削工法による耐震管の布設が困難なケースが増えています。クボタでは、SⅡ形と同等の耐震性を備えたNS形を、さや管内に推進して布設する新工法を開発。推進伝達リングの採用により、推進後にも管長の±1%の継手伸縮率が確保できます。これからの管路の耐震化計画に、お役立てください。



さや管推進工法の概要



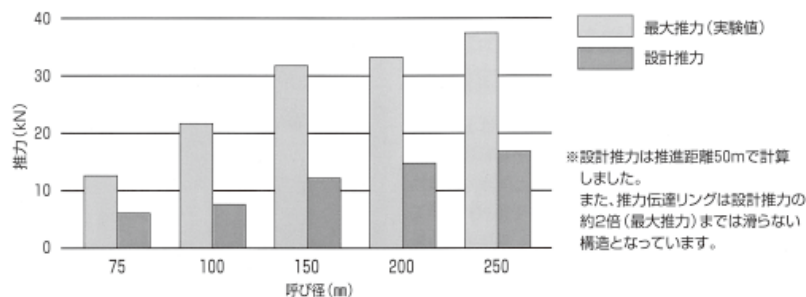
継手構造



さや管推進工法の諸元

- ①適用呼び径：75～450
- ②推進距離：50m（曲部なし）
- ③さや管：ヒューム管・鋼管等

推進伝達リングの性能



施工状況



※仕様詳細・価格等につきましては、弊社までお問い合わせください。